

第2回 保健所機能拡充検討会議 次第

平成31年2月4日（月）

19時30分～

豊島区役所本庁舎 509、510 会議室

1. 開会

(1) 会長あいさつ

2. 議事

(1) これからの保健所機能拡充について

①母子保健の充実について

②子育て支援機能の充実について

③女性の健康支援の充実について

④在宅医療の推進について

(2) 次回の議題について

3. その他

・次回の検討会開催日について

【配布資料】

資料1	これからの保健所機能拡充について
資料2	としま鬼子母神プロジェクト
資料3	子育て世代包括支援センター
資料4	豊島区子育て支援事業一覧
資料5	女性のための専門相談
資料6	在宅医療体制の充実
資料7	豊島区の高齢者施策の基本方針
資料8	第1回 保健所機能拡充検討会議議事録
参考資料	講演会・普及啓発イベント
参考資料	豊島区の保健衛生（事業概要）平成30年度版

これからの保健所機能の拡充について

本日の検討課題

- 1 母子保健事業の充実
- 2 子育て支援機能の充実
- 3 女性の健康支援の充実
- 4 在宅医療の推進について

次回の検討課題

- 5 生活習慣病対策・がん対策事業の充実
- 6 情報発信機能の充実
- 7 健康危機管理機能の充実
- 8 区民サービス及び利便性の向上

としま鬼子母神プロジェクト

全国的な人口減少問題に先駆的に取り組むため、平成26年7月から出産前からの切れ目のない子育て支援を展開していく「としま鬼子母神プロジェクト」を開始した。すべての人が安心して子どもを産み育てられる社会を目指し、健康・妊娠・出産・子育ての支援を通じて母性を育み、乳児の健康の保持増進に努めるとともに、家庭の孤立化を防ぐなど、健全な育児環境の確保を図っている。

時 期	内 容
平成26年7月19日	豊島区が23区で唯一“消滅可能性都市”との指摘を受け、当事者である若年女性たちの声を“女性にやさしいまちづくり”の施策に反映させるため、キックオフイベント「としま100人女子会」を開催。
平成26年8月から 12月	「としまF1」会議（6回） 提案が新庁舎での母子手帳交付、としま100人社長会、子育てインフォメーション・ナビゲーター、子育て総合情報スペースの設置等として施策化
平成26年度	「女性のライフプラン形成のための健康相談」、「としま育児サポート手帳」の配付、「としま育児サポーター」の派遣、「啓発セミナー」の実施、「としま見る知るモバイル」の配信開始。
平成27年5月7日	池袋保健所1階に健康情報発信スペース「としま鬼子母神plus」を併設。（AIDS知ろう館内）
平成27年7月	「ゆりかご・としま」事業開始。

[1] 女性のための専門相談 ～女性のライフプラン形成のための健康相談事業～

女性の健康で自分らしい生き方や、安心な妊娠・出産・子育てをサポートする総合相談を毎月1回実施。産婦人科医師・助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士が個別相談に応じ、女性のからだのメンテナンス体操も行なっている。

[2] 母子保健情報の提供・育児サポート

(1) としま見る知るモバイル ～結婚から出産・子育て応援サイト～

平成26年9月1日から女性と子育てのための「としま見る知るモバイル」を配信している。乳幼児の誕生日を登録すると、自動計算された予防接種の接種時期が事前通知され、健診やイベント案内も配信する。そのほか結婚、妊娠前、妊娠中の女性が知っておきたい情報を配信している。

(2) としま育児サポート手帳

乳幼児の健やかな成長と安心子育てを切れ目なく支援するためのツールとして、平成26年9月から、母子健康手帳交付時に別冊として配布している。両親からのメッセージに加え、祖父母や地区担当保健師・助産師等の支援者からのメッセージも記録できる。

(3) としま育児サポーター

「としま育児サポーター」として、助産師が赤ちゃん訪問後のフォロー等きめ細かな支援を行なっている。

[3] 講演会・普及啓発イベント

妊娠は女性が直面する大きな健康課題であり、「妊娠する力」は女性・男性のどちらにも関わることである。産科医師等専門家による講演会の実施や骨太健診の機会をとらえて助産師がミニ講座を実施している。

[4] 鬼子母神 plus ～池袋保健所・健康情報発信スペース

池袋保健所1階に若い方々の誰もが、一生を通してここもからだも健康に、また、結婚や妊娠・出産・子育て等のライフプランニングを自らの力で行うことを目指して、「鬼子母神plus」を拠点とした情報発信・相談支援事業を展開している。

[5] ゆりかご・としま事業

(1) ゆりかご面接（妊娠届出時面接）

妊娠中のさまざまな不安を軽減し、安心して出産を迎えるために平成27年7月より、妊婦の方全員にゆりかご相談員（助産師）または、保健師が面接を実施している。ゆりかご面接を実施した方に妊娠・出産に関わるグッズを贈呈している。

(2) 妊婦のための母乳教室（母子保健法第9条）

妊娠期からの母乳育児支援のために、平成27年11月よりゆりかご相談員（助産師）が教室を実施している。

(3) ゆりかご・ふらっと

平成27年12月より妊婦同士の交流やグループワーク、ミニ講座を通して産後の育児の孤立化を防ぐための教室をゆりかご相談員（助産師）が開催している。

参考：関連する保健事業(その他の予算事業)

- (1) 女性のしなやか健康づくり（20歳から39歳の女性対象の骨太健診・乳幼児健診時母親骨密度測定）
- (2) 生活習慣病予防健診（20歳から39歳の男性対象）
- (3) 母子手帳交付・妊婦健康診査・妊産婦歯科健康診査
- (4) 乳幼児健康診査・経過観察健診健康診査・幼児歯科健康診査
- (5) こんにちは赤ちゃん事業・母乳教室・出張健康相談
- (6) 産後ケア事業・特定不妊治療費助成
- (7) 子どもの予防接種

平成31年度新規・拡充事業

1 母子保健事業、子育て支援機能の充実（子育て世代包括支援センター機能）

（1）母親学級・パパママ準備教室事業【拡充】

働く女性のために平日に開催していた母親学級を土・日に実施する。また、パパママ準備教室申込増加に対応するため、回数を増やし、土日に実施する。

（2）ようこそ新米ママのひろば事業【新規】

生後4か月未満の乳児とその保護者を対象に新たに育児相談教室を開催する。乳児の成長と母体の健康状態を確認し、育児不安の軽減をするとともに母親のリフレッシュの機会を提供する。

2 女性の健康支援の充実（女性健康支援センター機能）

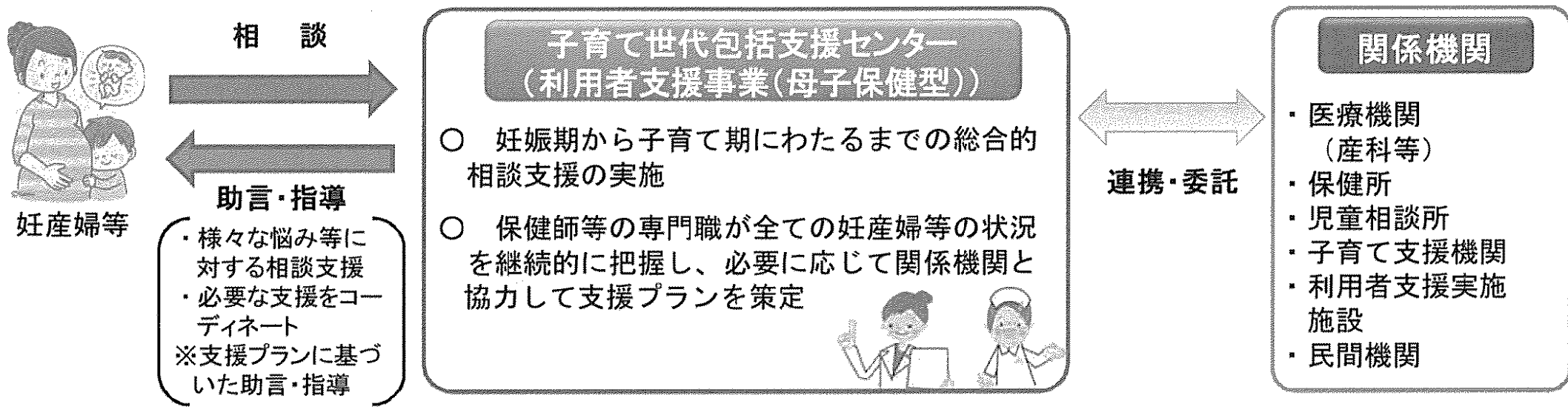
（1）女性の健康支援事業【拡充】

女性の健康支援の充実を図ることを目的として、より幅広い年代を対象とした個別相談や各種講座、講演会等を実施する。

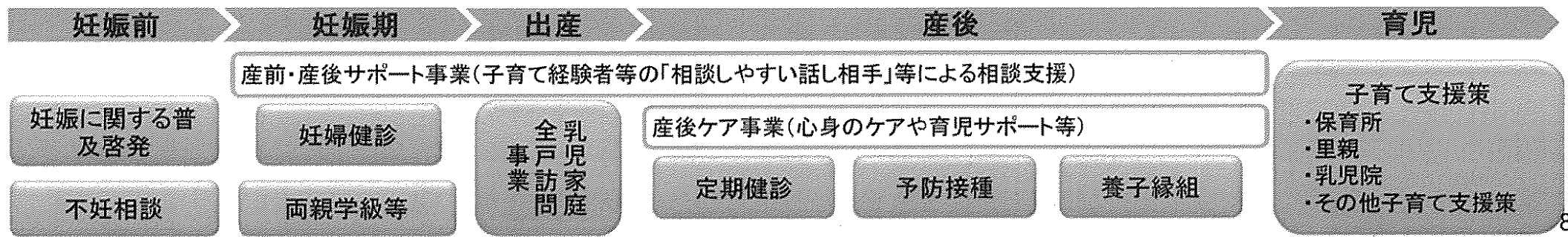
利用者支援事業(母子保健型)について

- 母子保健に関する相談にも対応するため、利用者支援事業に「母子保健型」を新設し、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を整備する。
- 利用者支援事業の（母子保健型）については、保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定することにより、妊産婦等に対しきめ細かい支援を実施する。

※ 平成26年度は、「妊娠・出産包括支援モデル事業」として実施。平成27年度からの本格実施にあたり、利用者支援事業に移行。



【妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の実施】



豊島区子育て支援事業一覧

地区を担当する保健師が継続して支援いたします。

豊島区 H30年度

若者支援

妊娠前期

妊娠期

出産

産褥期

子育て期

継続した健康づくり支援

保健所事業

【健康なからだづくり】

- 女性の骨太健診(20~39歳)
- 生活習慣病予防健診(20~39歳)
- としま見る知るモバイル
- HIV・性感染症・ウィルス肝炎検査等
- がん検診

【妊娠できるからだづくり】

- 女性のための専門相談
- こころの相談(精神科Dr)
- 禁酒指導・禁煙指導
- 先天性風疹症候群予防事業

- 鬼子母神plus(若者向け健康・子育て情報発信スペース)

【妊婦健診】

- 妊婦健康診査(14回分)
- 妊産婦歯科健康診査事業

【赤ちゃんを迎える準備】

- ゆりかご面接(妊婦相談)
- としま育児サポート手帳
- 母乳教室(妊娠期)
- ゆりかごふらっと(妊婦交流会)
- 母親学級(平日)
- パパママ準備教室(土)
- 子ども事故予防センター

【経済支援】

- 保健指導票

【出産したら】

- 赤ちゃん訪問
- としま育児サポーター
- 母乳教室
- メンテナンス体操
- 産後ケア(宿泊型)

【医療費助成】

- 里帰り出産等の妊婦健康診査
- 妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)

【パートナーとの関係】

- 家族問題相談(心理)

【育児支援】

- 出張育児相談
- 乳幼児健康診査
- 卒乳教室
- ツインスマイル
- ママリフレッシュ

【ネットワーク事業】

- 子育てサロン(民生委員)
- 子育てポンポン

子育て支援課 他

【赤ちゃんを迎える準備】

- ウェルカム赤ちゃん

【パートナーとの関係】

- 女性に関わる相談(男女平等推進センター)
- 女性相談(子ども家庭支援センター)
- 家族の相談(子ども家庭支援センター)

【経済支援】

- 出産費の助成
- 出産費資金の貸付
- ひとり親相談
- ファミリー・サポート・センター利用料助成
- 育児支援ヘルパー利用料の減額など
- 高額療養費制度
- 生活保護

【出産したら】

- 子育て応援ふくろう
- 子育てインフォメーション
- 産後サポーター事業
- としまいっしょに子育て
- 子育て訪問相談事業
- リボンサービス
- 母子ショートステイ

【保育関連】

- 保育園
- 地域型保育事業
- 臨時保育所事業
- 短期特例保育
- 一時保育
- 区立保育園一時保育事業
- 私立保育園一時保育事業
- ファミリー・サポート・センター事業
- 子どもショートステイ事業



TOSHIMA CITY

平成30年度

女性のための専門相談

予約制

無料

初めてご利用の方優先です

女性のからだは、女性ホルモンの影響によって変化します。

「病院に行くほどではないけれど、何となく不調・・・。」

自分のからだについて正しい知識をもち、生活を整えるヒントをお伝えします。

●コース1：健康プログラム

産婦人科医師・助産師・保健師・栄養士・
歯科衛生士・メンテナンス体操

<トータルサポートコース>

※所要時間おおむね2時間

◆対象：豊島区内在住、50歳未満の女性
<定員5名>

(プログラム例)

- 産婦人科デビューの不安を解消
- 基礎体温はからだからのメッセージ
- 月経と生活習慣病の関係
- インボディ(体脂肪や筋肉量)測定
- あなたのからだの状態に合わせた食事の取り方
- 便利な食品(外食・惣菜等)の上手な選び方
- 歯ブラシなど口腔グッズの選び方、デンタルフロスの使い方

◆受付時間：13時05分～13時15分

- ①受付・問診票の記入
- ②産婦人科医師相談
- ③助産師相談
- ④栄養士相談
- ⑤保健師相談
- ⑥歯科衛生士相談
- ⑦メンテナンス体操

※②～⑥の順番は、受付順により異なります。

●コース2：個別相談

産婦人科医師による個別相談

<個別相談>

※相談時間おおむね20分

◆対象：豊島区内在住の女性<定員2名>
(相談内容例)

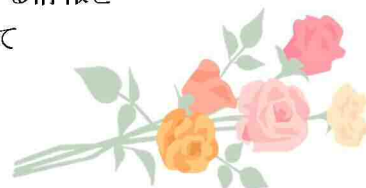
- 月経不順、痛みが強いけど受診したほうがいい？
- 子宮筋腫と言われたけど、治療が必要？
- 息切れや動悸がする
- 避妊の方法について知りたい
- 産後の腰痛・肩こり・尿もれ、なんとかできる？
- 赤ちゃんがほしいけど、なかなかできない
- 突然のぼせたり、ほてったりするのは更年期？

◆受付時間：14時15分～14時30分

- ①受付・問診票の記入
- ②産婦人科医師がご相談に応じます。

会場：池袋保健所2階

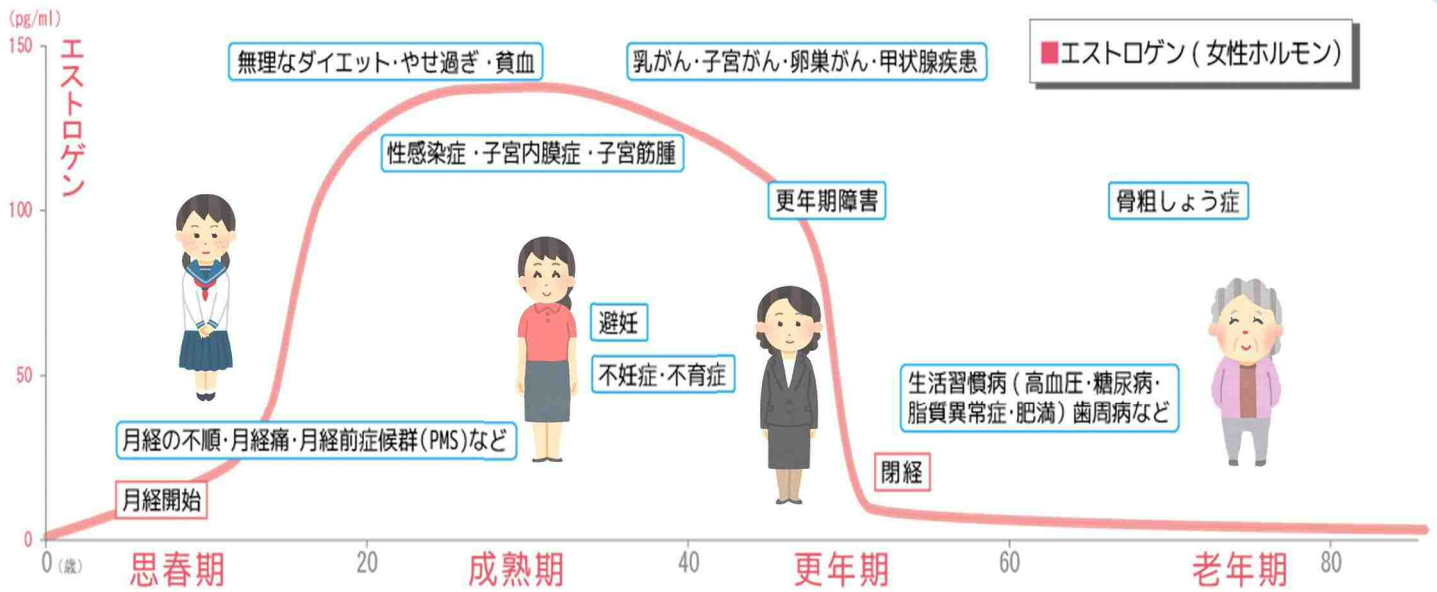
女性の健康に関する情報を
準備してお待ちして
おります。



利用された方の声

- ◆婦人科に受診するほどではないかなと思っていたことが、気軽に相談できて良かったです。
- ◆心配なことがなかったブースでも健康に関する情報をもらえて嬉しかったです。

女性のライフステージと健康

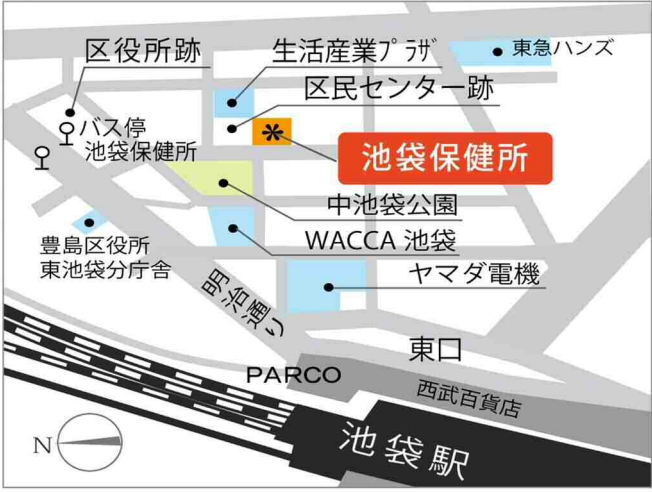


日程 (すべて水曜日)

平成30年	4月4日
	5月2日
	6月6日
	7月4日
	8月1日
	9月5日
	10月3日
	11月7日
	12月5日
	平成31年
2月6日	
3月6日	

申し込み・問い合わせ

池袋保健所健康推進課 TEL:03-3987-4174
 平日 午前8時30分~17時 (土・日・祝祭日を除く)



※ 保育ご希望の方 【定員あり】
 申し込み際にお申し出ください。
 対象:ご利用時に4か月以上3歳未



東京都の電話相談

- ◆ 女性のための健康ホットライン TEL03-5339-1155 月~金曜日10時~16時(元旦を除く)
- ◆ 不妊・不育ホットライン TEL03-3235-7455 毎週火曜日10時から16時 (祝日・年末年始を除く)
- ◆ 妊娠相談ほっとライン TEL03-5339-1133 月~土曜日10時~22時(元旦を除く)

在宅医療体制の充実

1 在宅療養に関わる相談窓口の設置（三師会）

- 在宅医療相談窓口（豊島区医師会）⇒ 31 年度拡充

【拡充内容】

業務量の増加に伴う非常勤 1 名増員及び運営費相当の委託料増

- 在宅歯科相談窓口（豊島区歯科医師会）⇒ 31 年度拡充

【拡充内容】

30 年度より窓口開設日を週 5 日→6 日にしていることに伴う歯科衛生士増員相当の委託料増

- 池袋あうる薬局（お薬相談窓口）（豊島区薬剤師会）

※相談のほか在宅療養患者の疼痛管理のための医療用麻薬の取扱いや、在宅療養の際に必要な医療機器の貸出も行なっている。

2 在宅医療連携推進会議と 5 専門部会の設置

三師会、都立病院、訪問看護ステーション、リハビリスタッフ、高齢者総合相談センター、居宅介護支援事業所、相談窓口相談員、区民など在宅医療・介護連携の担い手による会議体を設置し、現状把握と課題の抽出、対応策等を検討している。

3 地域の医療・介護資源の把握と情報提供

「豊島区在宅医療・介護事業者情報システム」により、在宅医療実施医療機関、介護事業者の最新情報をホームページで提供、あわせて、「豊島区在宅医療地域資源マップ（平成 30 年 3 月）」の発行

4 在宅医療・介護従事者向け研修及び区民向け公開講座の実施

- 在宅医療コーディネーター研修（主にケアマネージャー対象）
- 訪問看護体験研修、訪問リハビリ体験研修（病院・施設・在宅連携）
- 在宅医療推進区民公開講座

5 在宅療養後方支援病床確保事業の実施

在宅療養患者が病状の急性増悪等のため一時的に入院を必要とする場合に、治療を受けるための病床を区内病院の協力を得て確保している。

6 ICTを活用した多職種ネットワーク構築の取り組みへの支援

医療・介護従事者が、ICTを活用し効果的に情報を共有しながら、連携して在宅療養患者を支えるネットワーク体制を構築するために公益社団法人豊島区医師会が実施する事業に対し助成を行なっている。

新規事業

○リハビリテーションスタッフの組織化

豊島区医師会に理学療法士を週1日程度配置するための委託実施

○「豊島区在宅看護師会」立ち上げ

看護師会立ち上げに伴う事務費相当額を委託料として支払う

○舌圧測定器、咬合力分析計、咀嚼能力検査装置購入

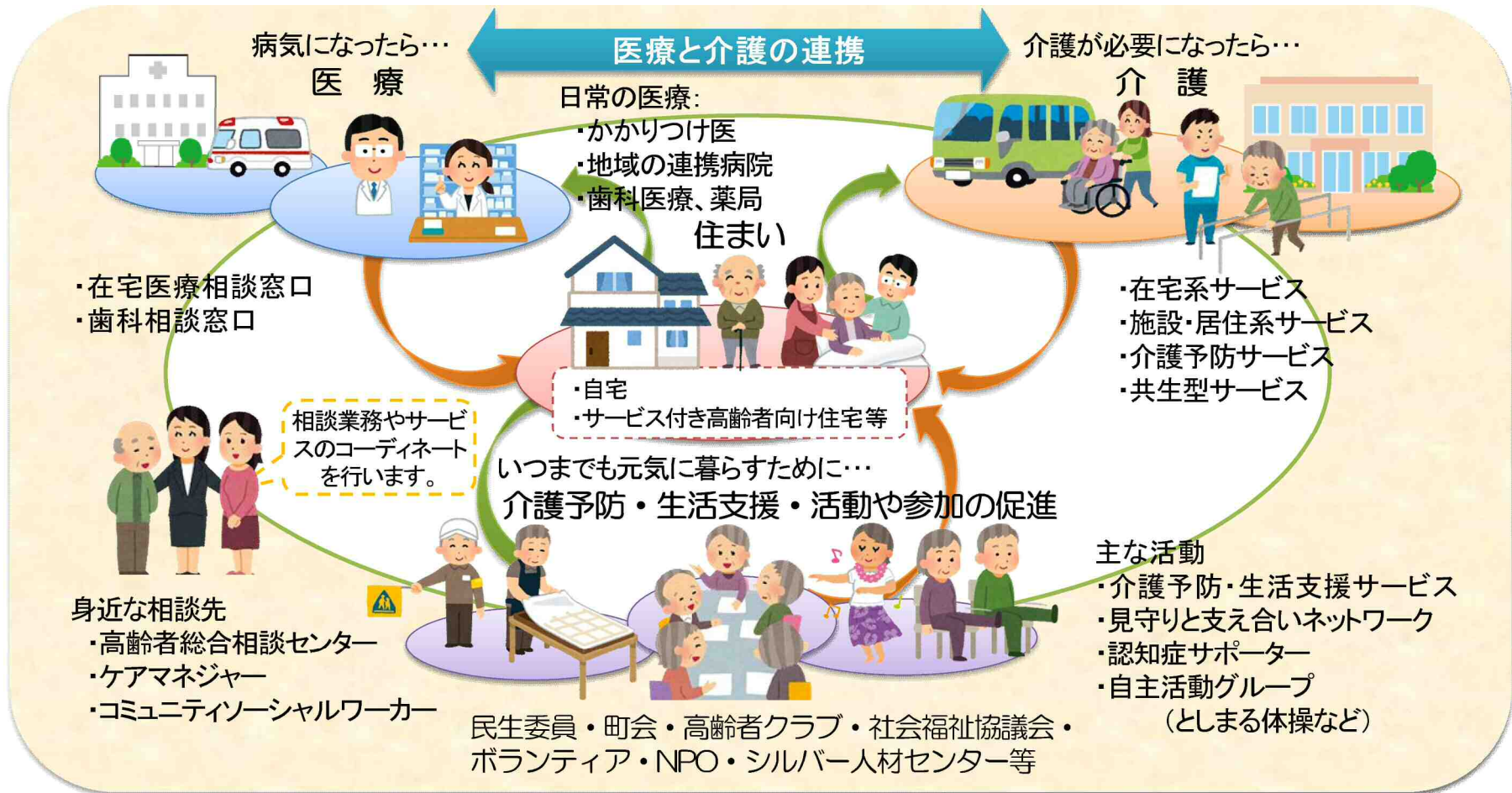
口腔機能の低下を早期に把握し、フレイル（全身の虚弱）を予防

○見守り器材購入（遠隔服薬サポートシステム）費の助成

一人暮らしの高齢患者に対する服薬管理を行うとともに、孤独死を防止する。

豊島区の高齢者施策の基本方針

「地域で互いに支え合い、安心して暮らせる**地域包括ケアシステム**の実現」



講演会・普及啓発イベント

□啓発セミナー

区分 年度	講演会テーマ・講師
26年度	「知っておきたい妊娠のこと」10月11日（土） 国立成育医療研究センター 齊藤英和 氏
27年度	「いつかママになるために今、出来る健康管理」 こころとからだの元気プラザ理事・診療部長 小田瑞恵 氏
	「男性の生き方、からだところどころ～専門家に聴く～」 藤崎康彦 氏、大橋正和 氏
28年度	「少子化対策を考えるワークショップ（大正大学 としま共創事業）」 大正大学 人間学部社会福祉学科 高橋一弘教授ゼミにて 12月16日（金）
29年度	「少子化対策を考えるワークショップ（大正大学 としま共創事業）」 大正大学 人間学部社会福祉学科 6月30日（金） 高橋一弘教授ゼミにて 12月15日（金）

□ミニ講座

区分 年度	講演会テーマ・講師
26年度より「女性の骨太健診」の中で毎年度実施	「女性の健康のために～知ってほしいこと～」 ・知っていますか？あなたの心とからだ（助産師） ・簡単クッキング～カルシウムを手軽に摂ろう（栄養士） ・歯とお口からはじめるアンチエイジングの話（歯科衛生士） ・メンテナンスできていますか？（運動、休養、節酒、禁煙）（保健師）

□健康教育

HIV感染者・エイズ患者が増加する中、思春期の保健対策の強化が重要な課題になっている。平成12年度から学校保健と連携しながらエイズや性感染症に関する健康教育を実施している。

区分 年度	参加人数 (人)	対象校			
		小学校	中学校	高等学校	大学
25年度	514		4		
26年度	616		5		
27年度	740		6		
28年度	582		5		
29年度	566		5		